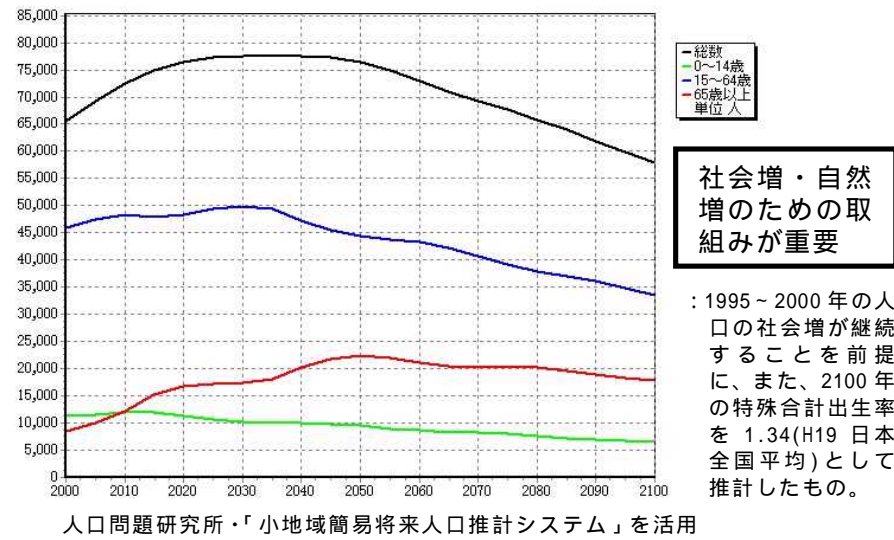


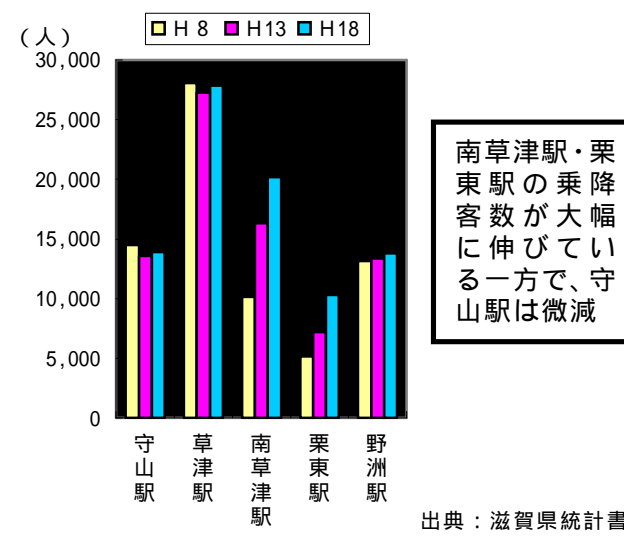
守山市中心市街地活性化の必要性について

背景 少子高齢社会・人口減少社会の到来 将来の都市間競争 中心市街地の活力の低下 地球温暖化やエネルギー事情への対応の必要性 「集約型」の都市構造への移行

1. 守山市の人口および年齢3区分別人口の将来の年次推計



2. JR駅の乗降客数の推移



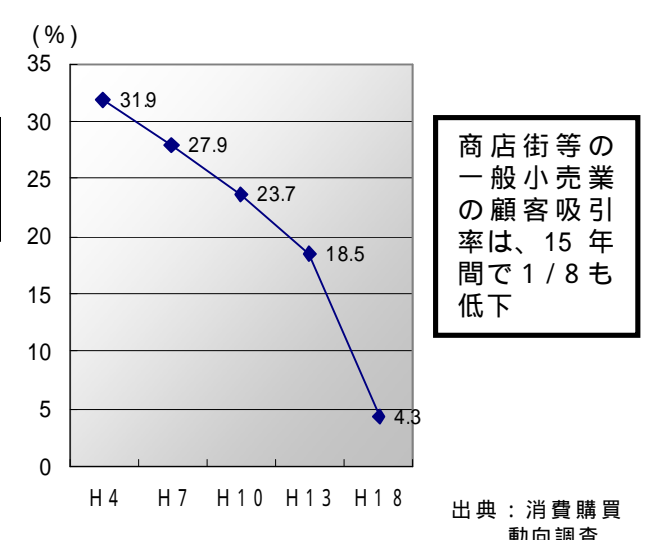
3. 昼夜間人口比率の比較

市	(%)
長浜市	108.6
栗東市	106.5
草津市	105.4
彦根市	101.3
東近江市	100.1
甲賀市	97.7
湖南市	96.2
高島市	94.5
野洲市	94.4
大津市	93.7
近江八幡市	93.4
米原市	89.0
守山市	88.4

昼夜間人口比率は県内13市の中で最低

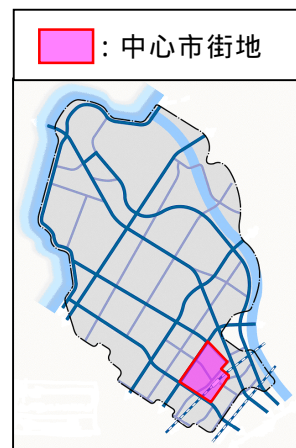
出典：H17国勢調査

4. 一般小売業の顧客吸引率の推移



少子高齢社会・人口減少社会の到来と将来の都市間競争等を見据え、活力が低下した『中心市街地』において、「都市環境の整備」と「にぎわい創出のための取組み」を実施。併せて、市域全域から中心市街地への公共交通の充実を図る。中心市街地以外の地域における諸課題についてもこれまでと同様に対応。

中心市街地活性化基本計画を作成し、本計画について国の認定を得て、平成21年度から5ヵ年間で集中的に取り組む。



『居住・業務・商業・教育・福祉・文化等の多様な都市機能を備えた中心市街地』へ

